

「弟子、おさいとうへ行く！」

掲載日:2014年1月13日



平成 26 年 1 月 13 日 「弟子、おさいとうへ行く！」

1月7日、ウサヒの弟子は高田地区で屋根の雪下ろしを見学していました。



高田区長 「フキちゃん(弟子の本名)、1月12日用事あるか?地区でおさいとうをやるから
取材がてら準備から手伝いに来ないか?」

弟子 「(残念…)12日は空気神社関係で東京に出張なんです…」

()内はココロの声です。

高田地区だけでなく、各地区の方々から誘って頂いたものの、フー八東京出張のためおさいとうに参加できないウサヒの弟子



ちなみに高田区長の娘さんはフー八東京に遊びに来てくれました。

弟子はおさいとうはどの地区でも12日にやるのだと思っていたのですが…

弟子 「お知らせに『豊龍神社のおさいとうは1月13日』って書いてある…」

そこで、弟子は1月13日豊龍神社のおさいとうに行ってみることにしました。



18時半頃、豊龍神社の入口に到着

「おさいとう」はワラを高く積み上げたものを火で燃やし、その炎で御札やお守り・書初めなどを燃やして、無病息災・家内安全などを祈る行事です。小正月の行事でかつては1月15日に行われていたそうですが、近年では土日に合わせて行われているそうです。

弟子の母の実家(秋田)ではどんど焼きという名前で呼ばれていました。



境内や



稲荷神社にご挨拶し、いざおさいとうへ！

おさいとうはお柴灯と書きます。



雪がちらつく中、火の周りには地区の方々が集まっていました。



地区の方々は団子をおさいとうの火で焼いていました。

弟子 「…この間、保育園で見ただんご下げに似ている…」

弟子は先日あさひ保育園で「だんご下げ」という行事を見学しました。



火遊びをしているわけではありません。だんごを焼いています。

弟子 「先日だんご下げを見学したのですが、これは焼くものなんですか？」

地区の方 「おさいとうでミズキの木にさした団子を焼くのは風習だよ。めでたい行事の一つとして、『いわい いわい(祝い 祝い)』とかけ声をかけながら団子を焼き、その団子を食することで1年間の無病息災、五穀豊穰、家内安全などを祈願するんだ。」

弟子 「神聖な行事なんですね…あ、あちらにはお神酒とスルメ！」



準備等されていた豊龍会の方々にお神酒やスルメを頂きました。

先日、ウサヒの絵コンテストで盛り上がったスーパーヒグチの社長もいました。

社長 「コンテストの時はありがとさま！次はウサヒの恵方巻き開発中だから！」

弟子 「社長…(今がウサヒ最盛期とばかりに)売り出していますね。」



ヒグチや朝日町の先行きは明るい！とばかりにこの日は月も輝いていました。

数日後…

弟子は役場で、総合産業課のオカザキさんにある写真を渡されました。

オカザキさん「送橋地区のおさいとうの写真、すごいよ。」

弟子 「こ、これは…」



手に持っているリンゴとワインの大きさから考えてもかなり大きなウサビの雪像

オカザキさん 「送橋地区の神明神社の所でおさいとうやっらしいよ」

弟子 「おさいとうというかこれは…札幌雪まつり？」



横から見るとかなり大掛かりなのがわかります。

昨年の師匠ウサビの日記やまちの写真館で雪像を作ったり、雪灯籠を作っている地区もあるとは知っていましたがこれは驚き。

今年も各地区、無病息災・家内安全などを祈りつつ個性を発揮したおさいとうとなったようでした。

取材依頼、いつでもお待ちしております。朝日町役場政策推進課(67-2112)までお寄せください！

月末、フー八東京にウサビ登場します！



ぴちゃん君とウサビがフー八東京で共演！！

1月25日(土曜日)・26日(日曜日) 時間未定 出演時間決まり次第 Twitter・FACEBOOK
で発信します。

場所・・・新宿 NS ビル 1 階「フー八東京」

今回の出張空気神社を企画してくれたダイキン工業・フー八東京は

ダイキン工業さんのショールームになっています



ぴちゅんくんのこの可愛さにウサヒはどう対応するのか・・・ご期待下さい。